



災害時応急・復旧活動支援協定 2/10

町は、災害時にLPGガスの被害状況等の情報提供や応急措置、復旧工事などの支援に関する協定を社団法人北海道エルピーガス協会日高支部（武岡大信支部長）と締結しました。

今回の協定締結に酒井町長は「今後、協定の意義が発揮されるよう、よろしく申し上げます」と話し、武岡支部長は「災害対策や国民保護の視点から、住民のために、今後ともよろしく申し上げます」と話しました。



ウィンターデ・ライト 2/5

アイスクンドルの柔らかい光が町中を照らす『第20回ウィンターデ・ライト（町商工会青年部主催）』が御幸通りなどで行われ、寒空の中、来場者は冬のイベントを楽しんでいました。

およそ6,000個のキャンドルが並べられ、ピュア前広場では、陸上自衛隊静内駐屯地や町立静内病院ひまわり保育所のオブジェが会場を彩ったほか、去年に引き続き、牧草ロール転がし大会も行われ、大変盛り上がっていました。



延出小学校閉校式 1/30

明治時代から115年の歴史を誇る延出小学校が、4月から三石小学校に統合されることになり、閉校式が在校生や卒業生及び地域の方々、約180人が出席して行われました。

式典では、酒井町長が「今日までの輝かしい歴史と培われた伝統を、そして崇高な精神はこれからも引き継がれていくと確信している」とあいさつ。在校生が「ありがとう延出小学校、さようなら延出小学校」とお別れの言葉を述べ、学び舎に別れを告げました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



「おしらせ道ねっと」設置 2/15

北海道コカ・コーラボトリングと開発局が共同で行っている情報提供事業「おしらせ道ねっと」の一環として、道の駅「みついし」に災害情報などを表示する電光掲示板付き自動販売機が設置され、その協定書の手交式が行われました。

設置は、道内の道の駅では95か所目になり、酒井町長は「道路利用者への情報提供や地域の防災意識の向上につながる。災害に強いまちづくりに向け一層努力したい」と話しました。



『名人会』肉用牛枝肉研究会 最優秀賞 2/9

東京都中央卸売市場食肉市場で開かれた『第25回名人会肉用牛枝肉研究会』で、前川忠昭さん（三石豊岡）が飼育するみついし牛2頭が見事、最優秀賞と優良賞を受賞しました。

これは、配合飼料の「名人シリーズ」を使用する肥育農家が枝肉の品質向上とブランド化を図るためのコンテストで、今回の受賞に前川さんは「コンテストを通して、他と競うことは励みになります。生産していく上でも楽しいです」と話しました。



白寿祝状授与 1/30

西村アイさんが白寿を迎え、畑端副町長から祝状、蚊野好美町社会福祉協議会会長から記念品を受け取りました。

ナツさんは浦河町出身で、昔から油絵を描くのが趣味で全道展で入賞したこともあるそうです。

またこの日は、通所しているデイサービスセンターなごみで、お祝いのセレモニーも行われ、職員によるハンドベル演奏や通所者全体で記念撮影が行われるなど、たくさんの方に祝福されました。



第5回町民スケート大会 1/29

晴天に恵まれたこの日、新ひだか町誕生5年を記念して『第5回町民スケート大会』が静内川右岸スケートリンクで行われました。

競技は500mや1,000mなどの個人戦のほか、団体戦として小学生リレー、また長靴を履いてリンクの上を滑る長靴リレーといった一味変わった競技も行われるなど、参加した町民の方々は、楽しみながらも一生懸命レースに臨んでおり、リンクの周りからはたくさんの声援があがっていました。



静寿園へのプレゼント 2/14

中央ことぶき大学手芸部は、2月が誕生月の方に手作りの巾着袋を送り、入所者の方と手芸を通して交流しました。これは4月から毎月、入所者の方に送っているもので、大変喜ばれています。



ソフトバレーフェスタ 2/13

新ひだか町誕生5年を記念して『町ソフトバレーフェスタ』が三石中学校などで行われ、参加チームは優勝を目指して白熱した試合を繰り広げていました。



町総合計画審議会 2/1

将来的なまちづくりの基本指針となる『第1次総合計画』を審議する町総合計画審議会が町公民館で行われ、平成21年度事業の執行状況やこれからの実施計画について審議されました。



「ひまわり会」作品展 1/23~2/6

子ども油絵サークル「ひまわり会」の第10回作品展が町福祉センターで行われ、「海と自分」をテーマとして描かれた、個性あふれる力作36点が展示されました。